

まごころ企業一覧

Gallery風じん雷じん、新大分土地株式会社、(株)日建コンサルタント、キツキハーネス有限会社、真浄寺啓心基金、特定非営利活動法人自立生活センター松山、特定非営利活動法人自立生活夢宙センター、(株)アール・エフ、医療法人時枝内科医院、かなや小児科、たにがわ歯科、(株)RNO、地域共生型プロレスXXXxフォーエックス、イジョー合同会社、特定非営利活動法人EPP、特定非営利活動法人自立生活センターSTEPえどがわ、有限会社東栄工業所、株式会社カガシヤ、株式会社高山活版社、藤原美術研究所、株式会社アシタエ、(株)大分出版印刷、ゲストハウスライフクオリティカーザ、(有)コダマ(サイクルショップコダマ)、株式会社プロバイド、有限会社イースト、ハジマリアーキテクト株式会社、ぶんご食品(株)、株式会社ファイン・みんなの後見センター、ファインド個別指導塾、パラボラ舎、有限会社ベルデ、NPO法人ジョブ・チャレンジ・サポートOITA

サポーター

株式会社大分まちなか倶楽部、大分市中央町商店街振興組合、大分市府内五番街商店街振興組合、大分県商店街振興組合連合会、公財)おおいた共創基金、医療法人伊東Kクリニック理事薬剤師伊東真知子、株式会社クリエイド、株式会社Emicious、一社)e-blossom、訪問入浴サービスぽかぽか、NPO法人桜ピースワーク、ダブルケア大分県しましまかふえ、日本風景街道おおいた海への道推進協議会、道守大分会議、NPO法人桜ピースワーク、一般社団法人Anchor、特定非営利活動法人EPP、(株)アシタエ、NPO法人第三者評価機構、都山流尺八鴻山会、地域共生型プロレスラーXXXx(フォーエックス)、囲碁とごはん、おおいたレインボープライド、大分県将棋連合会、未来応援コミュニティb-roomぶるーむ、チャイルドラインおおいた、豊後大野関係人口交流拠点施設cocomio、(ほか個人2名)

メディア掲載



< 新聞 >
佐賀関ひとむすびプロジェクト
大分合同新聞
(2026/2/18朝刊)より

< テレビ報道 >
佐賀関ひとむすびプロジェクト
1/29
TOS「ゆ〜わくワイド」、NHK「ぶんどキ」にて放送
3/23
TOS「ゆ〜わくワイド」にて放送

< インターネット記事 >
佐賀関ひとむすびプロジェクト
Yahoo!ニュースに掲載



大分合同新聞(2026/3/22朝刊)より

2025年度
地域ひととネット報告書

① ふれあい囲碁®を活用した地域づくり 人づくり事業

② 中間支援事業

③ 災害支援活動

- ・要配慮者支援事業
- ・大分市商店街BCP連携事業
- ・佐賀関ひとむすびプロジェクト

ふれあい囲碁®

中間支援事業

災害支援活動

特定非営利活動法人 地域ひととネット

この報告書は2025年度大分市あなたが支える市民活動応援事業により作成しています

事業をつづける 体制づくりと 地域との 新たなつながりが そだった1年。

実施内容

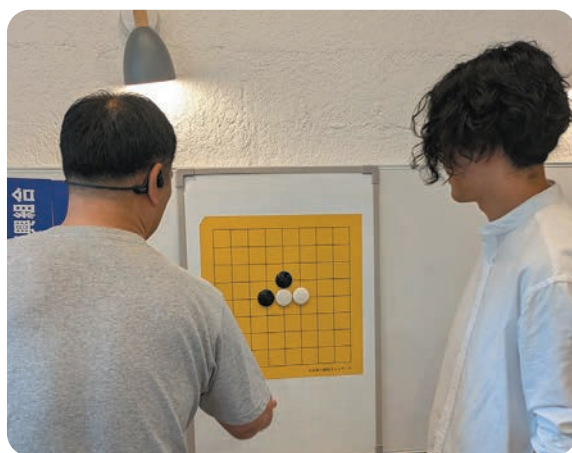
- ① ふれあい囲碁®を活用した地域づくり 人づくり事業
- ② 中間支援事業
- ③ 災害支援活動

(要配慮者支援事業/大分市商店街BCP連携事業/佐賀関ひとむすびプロジェクト)

今年度は、事業の3本柱である「ふれあい囲碁」「中間支援」「災害支援」において、継続的に実施することができました。事務局体制では、オンラインを活用した定例会議や理事会の開催を継続し、安定した組織運営につなげました。また、昨年度より非常勤スタッフを1名増員したことで、読書会や囲碁のレクチャーといった小規模事業を試験的に実施できました。一方で、情報共有のオンライン化や事務の効率化などが棚上げであるため、次年度以降に具体的な検討を進める必要があります。

なお、年度の後半では、11月に佐賀関で発生した大規模火災における被災者支援を中心に、緊急的な活動を実施しました。

① ふれあい囲碁®を活用した地域づくり 人づくり事業



ふれあい囲碁®とは？

ふれあい囲碁は、勝ち負けを競うものではなく、囲碁ベースのゲームを通じて、人との関わり方を体験できるものです。

非言語コミュニケーションのため、年齢、性別、言語の壁もなくだれもが一緒に参加できることが一番の魅力で、当団体の活動のベースになっているプログラムです。今年度も定期訪問を実施し、イベントへも参加しました。

企業・団体研修

自治体や企業の職員の方向けのNPO現場体験や、研修事業も行いました。

大分県及び市町村職員NPO現場体験研修～飛び出せ公務員プロジェクト～

大分県及び市町村職員のNPO現場体験研修の受入れを行いました。参加した職員の方にも、ふれあい囲碁リーダーを体験してもらいました。

豊後高田市社会福祉協議会 職員向け研修

地域の課題を解決するための取り組みとして、豊後高田市社会福祉協議会で職員研修の一環として、ふれあい囲碁をテーマに実施しました。

【開催日】2025年11月19日



大分県及び市町村職員NPO現場体験研修

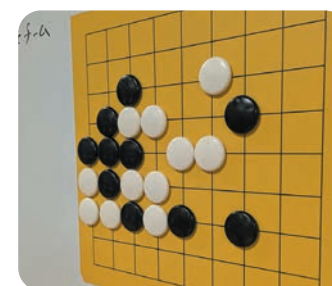
定期訪問活動

社会福祉法人霊山会 特別養護老人ホーム玉光苑

ゲームの後、碁石をひとつひとつ手でつかみ、白黒それぞれの箱に片付けていただくことも利用者さんをお願いしています。

勝負に対する気持ちを強く出しているご利用者さま。ずっと先を読んで碁石をおく利用者さま。デイサービスセンターの職員の方々も「さすが!」と感心させられるそうです。

【定期訪問 年11回】



フューチャーCプロジェクト 放課後等デイサービスCanCan

放課後デイサービスを利用している子どもたちに「ふれあい囲碁リーダー」を体験してもらいました。リーダーのお約束は3つ。その3つを守ると、他の参加者の顔がよくみえてきて、やさしい声かけになります。小学生の子どもたちが、みんなの表情をみながらルールの説明をしています。

相手が理解しているか、“相手を意識する”ということが大切なのです。リーダーを実施した子どもの表情の変化に成長がみえる瞬間です。

【定期訪問 年6回】

イベント出展

おおいたNPO博(大分市主催)

今年も大分市内のNPO関係者が集まる「おおいたNPO博」では、ステージ発表と遊びブースにふれあい囲碁のブースを出展。ステージでは司会者チームと来場者チーム分かれて、ふれあい囲碁の体験をしてもらいました。ブースでは、マグネット碁盤でルール説明や練習。大型碁盤で対戦。スタッフと対戦、友達と対戦、親子で対戦など、様々な方々にふれあい囲碁を楽しんでいただきました。

【開催日】2025年11月



2 中間支援事業

地域の課題解決のためには、NPOと企業、行政など多様な主体の相互理解が必要です。
異なるセクターの間に立って、コーディネート等を行いました。

自主事業

実施内容

- ・運営相談業務 110件
- ・公財)大分県スポーツ協会 登録団体調査事業
- ・県内NPO等の任意団体 子どもの未来を語る会 年間14回



音声メディアによる情報発信

NPO法人としての日々の活動の舞台裏をお話するポッドキャスト番組「地域ひとラジ」を定期配信しています。
番組は「Spotify」「Appleポッドキャスト」等で聴くことができます。視聴は無料。番組のフォローもぜひお願いします！

地域ひとラジ
視聴はこちら



Apple
podcast



Spotify

大分県及び市町村職員 NPO現場体験研修

～飛び出せ公務員プロジェクト～

受入れ(2025年6月～2026年2月)



大分県障がい者・児 「秋の交歓会」への出展

障がいをお持ちの方とご家族の交流イベントに大分地方気象台と共同で出展。防災アプリの説明や、要配慮者対象に「避難のタイミング」についての情報収集など、アンケートを実施しました。
(アンケート回収:100名)



【講師】・公財)大分県スポーツ協会 ガバナンス講習会
・公財)おおいた共創基金 「NPOの団体と人のお話」
・大分市男女共同参画センター 防災講座
「もしも」の前に考える防災・減災
～地域だからできる“あなたの声かけ”～

【参画】・公財)大分県スポーツ協会 評価委員
・公財)おおいた共創基金 運営アドバイザー
・大分県老人クラブ連合会 補助事業審査員
・大分県ボランティア・市民活動センター運営委員
・公財)おおいた共創基金 理事



大分市男女共同参画センター 防災講座

3 災害支援活動

要配慮者支援事業



おおいた・いとでんわプロジェクト (県内の災害時要配慮者支援事業)

災害時に「避難したいけれど様々な事情で避難所に行けない」という方々がいます。そういった「災害時避難行動要支援者(高齢者・障がい者・乳幼児家庭等)」の方へ、避難情報の提供などの後方支援を実施しています。
【メルマガ配信】年4回

BITA
ITO
DENWA
Project
おおいた・いとでんわプロジェクト



くわしくは
こちら



災害時の支援者を増やす動画制作事業(助成事業 真如苑)

車いす使用者、医療的ケア児・者の視点からの必要なサポートの仕方を知ってもらうための啓発動画を作成しています。
なお動画の完成や啓発動画を使った防災講座の実施は、来年度の予定です。



避難所運営コーディネーター受講(大分県主催 認定登録)

大分県では2025年度から避難所の環境改善を目的に、避難所運営等に関する知識やノウハウを学ぶ養成講座が開催され、当法人代表の谷川が受講し認定を受けました。
(10/25～10/26、11月現場研修)

大分市商店街 BCP 連携事業

BCP連携事業 フォローアップ研修受講

当法人では大分市中央町商店街振興組合、大分市府内五番街振興組合、大分県商店街振興組合連合会、株式会社大分まちなか倶楽部等とともに、連携BCPに取組、企業や商店街が持つ資源を、災害時の地域支援に活かす視点で日頃から防災活動や会議等で情報を共有しています。
(7/22、8/27、11/12に開催)



谷川さんに囲碁を教えてください

防災活動は、日々の顔のつながりが重要なポイントとなります。
大分市の中心市街地は店舗だけでなく、近隣に暮らす住民も混在するため、“人のつながりづくり”のために囲碁をテーマに開催しています。
【開催日】毎月15日 【開催場所】府内5番街商店街



モーニング読書会

好きな本を持ってきて、60分間ゆったりと読み進めるだけ。その後、気が向いたら感じたことを少しだけシェアしてみる。もちろん、無理に話さなくても大丈夫な、ゆるくつながる場をつくっています。
【開催日】毎月月末の土曜日9:15-11:30【場所】府内5番街商店街内各所

3 災害支援活動

佐賀関ひとむすびプロジェクト



佐賀関の暮らしを、もう一度つなぐ。
一軒一軒の『困った』に寄り添う1年間

ウェブサイト



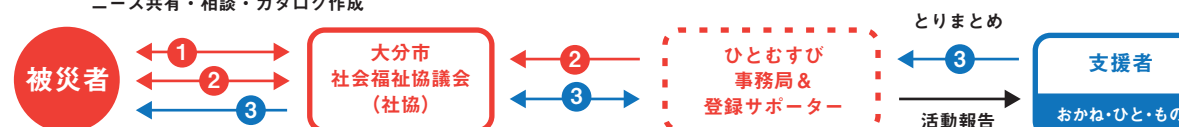
2025年11月、大分県大分市 佐賀関を襲った火災。

住み慣れた家と日常を失った約120世帯の方々は、今、慣れない避難生活の中で一步を踏み出そうとしています。私たちは、被災された方々へ「決してひとりではない」という温かい繋がり、安心して暮らせる毎日を届けるために立ち上がりました。大分市社会福祉協議会と連携し、物資の支援と心のケアをセットで届ける1年間のプロジェクトです。

支援の流れ

- 1 聞き取り：社協スタッフが全戸訪問し、困りごとを聞き取り。相談や健康状態の確認をします
- 2 カタログ送付：ニーズに基づき作成したカタログから、世帯ごとに商品を選択(年2~3万円相当)
- 3 お届け：再度の訪問により、物資をお届けし「顔の見える関係」の継続に繋がります

ニーズ共有・相談・カタログ作成



支援物資のお届け

みんなに一律の支援では埋まらない「個別の不足」を解消するため被災者自身が「いま必要なものを選ぶ」仕組みで支援物資をお届けしました。カタログ支援に先行して現物を被災者交流会の場をお借りして日用品、季節の衣類等を「選ぶ喜び」とともにお届け。支援物資はできる限り地元の商店から調達し、地域全体の復興を後押ししています。

【支援実績】

2026年3月22日 春物洋服/食器の支援活動(860,000円を協力事業者に支払い)
※カタログでの支援は2026年度実施にむけ進行中



被災世帯ごとのニーズ把握

大分市社会福祉協議会と連携し現地のニーズを把握。
社協スタッフが直接訪問して手渡すことで、季節ごとに変わるニーズの再確認と健康状態の確認を行います。



つながりの支援

みなし仮設は田中地区から離れた場所も。心の距離をつなぐ取り組みを後方支援します。コミュニティカフェ「関ぱくす」の開催に必要な物資提供など地域住民主体の活動をサポートしています。住民の声、支援者の声を音声メディアで伝える「SEKI ラジ」もポッドキャストで、定期配信しています。



SEKI ラジ
視聴はこちら



Apple
podcast



Spotify

支援者

おかね・ひと・もの

活動の「支援者」をふやす取り組み

支援活動を行う上で必要な「おかね」「ひと」「もの」を当法人に関わる方を中心に民間で声掛け。活動を通じて佐賀関に心を向けていただく仕組みです。



ご寄付の受付

物資支援、中間支援に必要な資金は、民間からの寄付を中心にお預かりし、必要な物資のお届けや活動資金として使用しています。

- ・クラウドファンディング(Syncable)
- ・赤い羽根テーマ募金
- ・法人、団体からの寄付(まごころ企業)
- ・募金箱

寄付の総額 5,535,000円

※2026年3月19日時点

活動を支える「サポーター」と共に、幅広い支援を。

資金の寄付だけでなく関わり方として、サポーターを募集しました。

- 「もの」: 余剰品などの物資提供、余剰品BOX設置
- 「ひと」: 協力企業さまの紹介
- 「広報」: 募金箱、チラシの設置、プロジェクトの広報ご協力

「まごころ企業」「サポーター」のご紹介
活動の最新情報はプロジェクトウェブサイトへ

